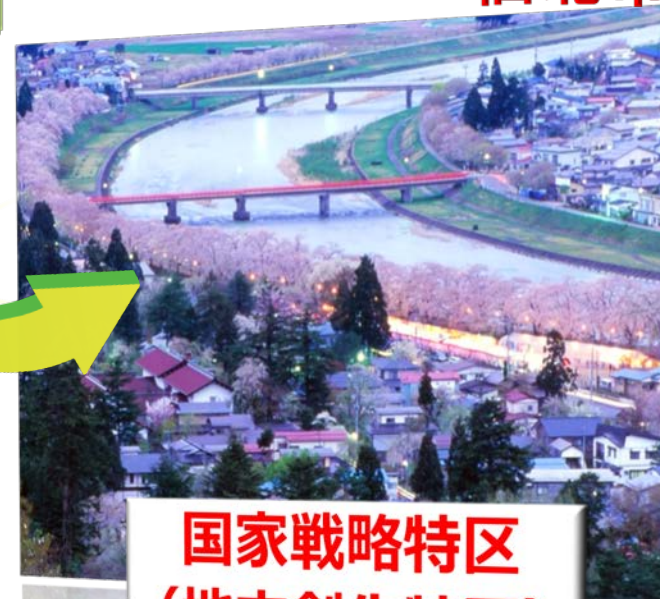


秋田発 特区で「新しい農家」のカタチを！

大潟村



仙北市



国家戦略特区
(地方創生特区)

第24回 国家戦略特区諮問会議

仙北市長 門脇 光浩
大潟村長 高橋 浩人



仙北市特区の一年間の成果

■ 国有林野での農業・放牧

昨年9月 諮問会議で事業認定
 今年8月 試験的放牧を実施
 来春 国有林野内での放牧開始（予定）
 ～将来、ハンガリー国宝「マンガリッツァ豚」の放牧を目指す～



■ 電波法の特例による日本初の国際ドローン競技会

今年2月 諮問会議で事業認定
 7月 ドローン競技会開催



出場国：中国、韓国、ベトナム、シンガポール、マレーシア、インドネシア、日本

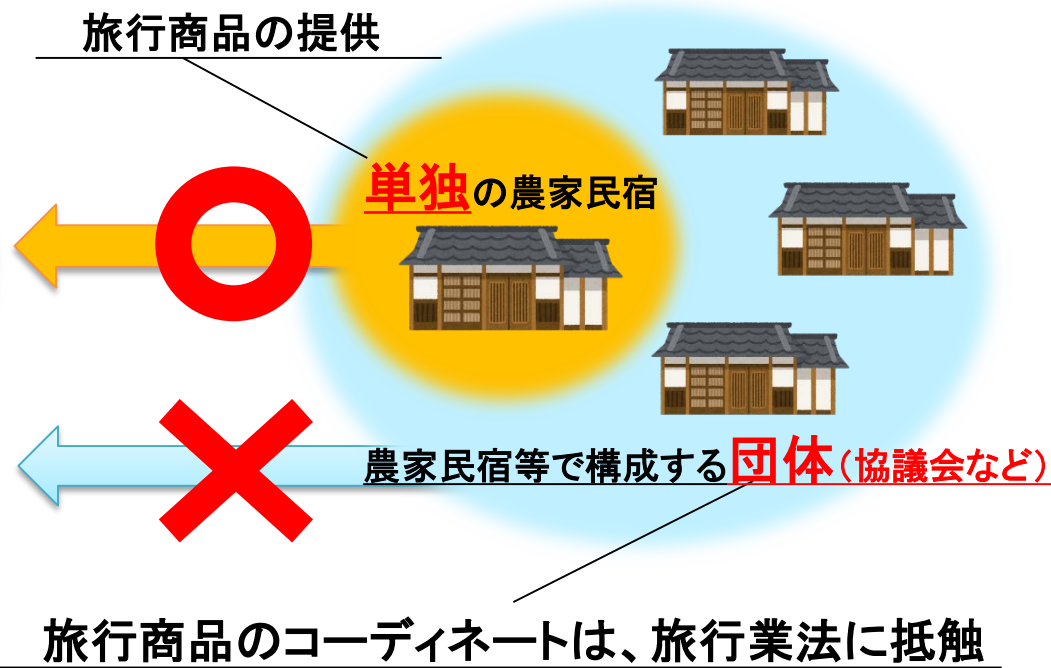
■ 温泉地での外国医師による診療

来年6月 温泉関連の国際会議に合わせ診療実証を開始（予定）

玉川温泉施設内の湯治相談室を活用



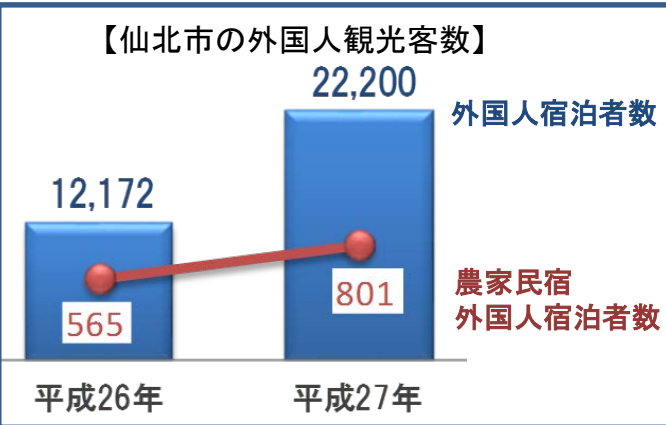
農家民宿などによる「着地型旅行商品」の提供



旅行業の許可を受けやすくすべき！
必置資格の「旅行業務取扱管理者試験」(国家試験)を容易に！

※平成27年度合格者数(全国)
 約4,400人(合格率29%)

特区を活用して緊急に措置すべき！！



大湯村は、かつて国内第2位の面積であった八郎湖を干拓し、昭和39年に誕生した大規模専業水田農業地帯。
平均耕作面積は18ha(全国平均は約2ha)で、日本のモデル農村として大規模で先進的な営農を実践。

■ 稲作以外の作付面積を増やしたいが、実際は減少

◆有機栽培、野菜・花き等の高収益品目の拡大

作付面積[ha]

	平成21年度	平成27年度	増減
有機栽培	778	458	-320
野菜・花き	25	22	-3

■ 労働力の確保が難しいことが一因

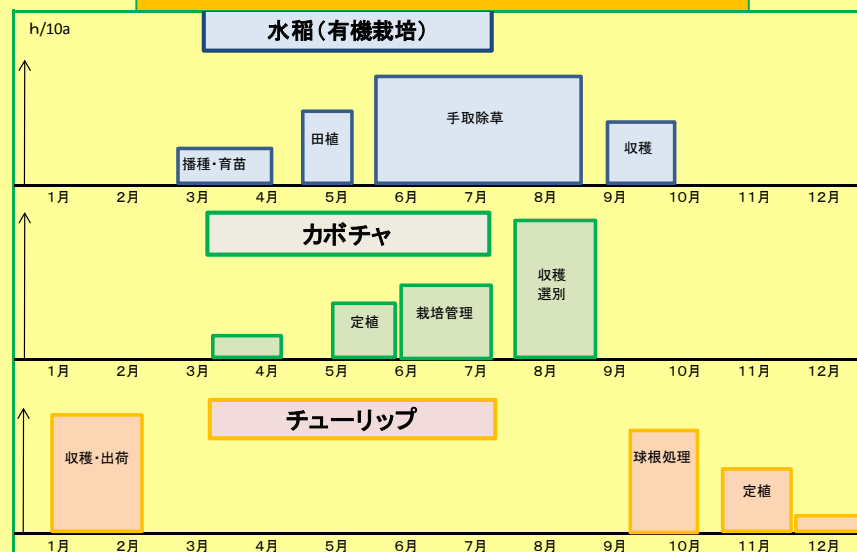
◆稲作以外は、**周辺5市町からの期間雇用**により賄ってきたが、
 人口減少・高齢化が加速。

〈大湯村周辺5市町の人口推移〉

	平成12年度	平成27年度	増減
人 口	86,263人	66,019人	-20,244人
高齢化率	26.5%	40.6%	14.1%

■ 単一の作物でなく、多種の作物に総合的に対応できる「専門人材」が必要

月別労働時間のイメージ



◎これらの課題解決のために、「外国人」の受入れと活用。

◎ただし、「技能実習」では対応できない、「農業分野の専門人材」(*)の
就労を可能に!

(*)技能実習を修了したレベル